

おとうさんのおやごどん

古河市立中央小学校一年 中村 妃茉莉

「きょうは、おとうさんのよるごはんだ。」
れいぞうこをあけたまま、じつとしてかんが
えていたおとうさん。

「うん、おやごどんだね。」

1
ざいりょうをとって、ごはんづくりがしま
りました。いつもは、おかあさんがつくって
くれるけれど、きょうはおとうさんです。ど
うしてかというとう、おかあさんがインフルエ
ンザになっでしまい、あさからたかいねつが
2
でて、おきられなくて、ずっとねていたから
です。

おとうさんは、ときどき、おかあさんのご
はんづくりのおてっだいをしています。でも、
おとうさんがひとりで作るのははじめてな
ので、「だいじょうぶかな」と、すこししん
ぱいでした。おとうさんは、なにもしやべら
ずに、てきはきとおやごどんをつくっていま
した。すこししたら、とってでもいいにおいが

してきたのでみにいくと、もうすぐできあが
リのおやこどんが、フライパンのなかで、ぐ
つぐつしていました。

「ひまりのすきなえだまめはトッピングで
と、おとうさんがにっこりわらっていいまし
た。そのあと、あっというまにできあがった
のでびくくりしました。

3
てできたてのおやこどんのうえには、つやつ
やした、まるいみどりいろのえだまめがたく
さんのっていました。いつもとおなじえだま

4
めなのに、ひとつひとつキラキラひかっ
て、ダイヤモンドみたいできれいでした。た
べてみると、おとうさんのがんばったあじが
して、とってもおいしくて、おかわりしてた
べました。「おかあさんがたべたら、げんき
かてるかもしれないな」とおもって、おかあ
さんにもたべさせてあげました。ひとくちた
べると、にっこりわらったおかあさん。わた
しもにっこりわらいました。それをみていた
おとうさんもにっこりわらっていました。